

No MoRE 電気火災



安価な電気製品にはご注意を！

火災の内容

最近、電気製品が原因となる火災が増加しており（当消防組合では、平成 24 年には 11 件、平成 30 年には 23 件発生）、その一つの原因として、内蔵されているリチウムイオン電池があります。そして、その中には、安価な電気製品に内蔵されている電池の不具合により発生している火災も少なくありません。

事例 1

カバンから「パン」という音と白い煙が出てきて、確認すると、リチウムイオン電池が内蔵されたモバイルバッテリーが焼けていた。

モバイルバッテリーからの出火状況

製品評価技術基盤機構（NITE）より提供



事例 2

誰もいない貸倉庫に置いていた充電式ライト（リチウムイオン電池内蔵）から出火し、周りに置いていたものに燃え広がった。

原因について

調査の結果、原因として、製造段階の検査が不十分なまま出荷されていたり、リチウムイオン電池に異物が混入していたと思われるものがありました。

これらの商品の中には、インターネット通販などで人気の商品もありますが、粗悪な海外製品もあり、その危険性に気付かず購入することもあります。また、海外製品は「相談窓口がない。」、「連絡が取れない。」、「日本語が通じない。」など、火災が起きた際に十分な対応や補償がされないことがあり、使用者が泣き寝入りしなければならないこともあります。

安価な電気製品を購入する際は、ご注意を！！

安かったらお得感があるけど、値段と安全性は、比例関係にあるのかもね!?



火災予防に向け

リチウムイオン電池は、出火する前に次のような症状が出る場合があります。異常が見られた場合は、直ちに使用をやめてください。

- ①充電中に今までより熱くなっている。
- ②リチウムイオン電池が膨張している。
- ③電池の充電ができなくなったり、突然電源が切れる。

※上記の他にも、リチウムイオン電池が内蔵された電気製品を落とすなど、衝撃を与えた場合、火災になる危険性もあります。

・・・火災が発生した場合は、直ぐに消防（119）へ通報してください。・・・